

顧客満足を第一とし、スピーディーかつ美しい組版を提供

書	籍	物	の	組	版	な	ら
日	本	フ	ィ	ニ	ツ	シ	ユ

満足いただける本づくりをお手伝いいたします

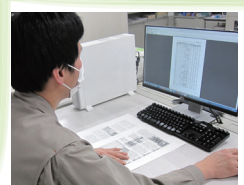


組版一筋 40年



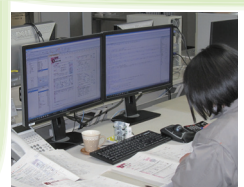
顧客満足

私たち日本フィニッシュは「組版職人」の集団です。組版の品質は非常に高いレベルと、お客様からも高い評価を受けております。



スピーディー

入稿データを効果的にいかにソフトウェアを用い、豊富な知識と経験を積んだオペレーション技術により納期の短縮を努めます。



データの有効活用

大量頁物の版下制作からXMLやEPUB、Word変換、データベースなど、高度なデータ交換や電子データもご提供いたします。

組版のことならお気軽にこちらまで ☎ 03-3255-1971

日本フィニッシュ株式会社
 お問合せ 本社 東京都文京区湯島 1-1-12 NTビル
 TEL 03-3255-1971 FAX 03-5256-7128
<http://www.n-finish.co.jp> 担当：堀内 / 野沢

めんく(の)しそくま(こ)にもわけゆつ(と)ゆ(べ)とも (島津家文書、島津通徳書文并職状等案、文永八年正月十五日)

本物七貫んかりふんに、かの田のけおれおれおるとゆ(べ)とも (勝尾寺文書、僧職覺賢地獄文、寛元三年三月、智ソト言二(巻第四))

とあり、やや降るが、高野山文書、又續寶簡集十四、朝洞庄百姓等言上書案(應永頃)には「ゆわれ、光言句義釋聽集記正元々年寫本に語幹を「ユ」と發音する慣用が當時にあつたことを知るのである。これらは、鎌倉時代には口頭で進んでいた面を窺わせる。

解脫門義釋聽集記には、代名詞の「イツコ」が「イドコ」を経て轉じた、「ドコ」が用いられる。

○コノ信ハトコニ住スルト云(巻第四、十二丁オ、七六頁)

○是ハトコノ智ソト言二(巻第四、二十三丁オ、八ノ頁)

唯識論ノセステテ云ハムハトコトモナキ事也云云(上巻・コ(平・ト(平・モ(平・リ))

とあり、「ド(上聲濁點・コ(平聲)」の聲點によって確かな發音まで知られる。「ドコ」は「トコ」の「何」往(ト)が古例として知られるが、引續院政期(例が、梁塵秘抄のように轉寫本であったこともあり、明恵上人關係資料の例は注目される。光言句義釋聽集記正元々年寫本には、「ト」佛(ト)に平聲濁點、龍關寺藏寫義釋聽集記には、他にも、「スデン」が聲點を差されており、又鎌倉初期寫の諸事表裏には、「ト」佛(ト)に平聲濁點、龍關寺藏寫義釋聽集記には、他にも、「スデン」が聲點を差されており、口頭語の世界には、「コソア」の「ド」系も、場所、方向、の語形が成立しており、口頭語の世界には既に広く脈打つていたと見られる。

「満足いただける本づくりを、お手伝いいたします。」

これから右図の(図1)、(図2)より、 θ のを用いて $\beta - \alpha \leq \theta \leq \alpha + \beta \dots ①$ を表される。

①において、等号は4点O、A、B、Cが同じときに成立する。

①より、 $\cos(\alpha + \beta) \leq \cos \theta \leq \cos(\beta - \alpha) \dots ②$

①より、 $\cos \alpha = \frac{4}{5}$ より、 $\sin \alpha = \frac{3}{5}$ 、 $\cos \beta = \frac{\sqrt{5}}{5}$ より

$\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta = \frac{4}{5} \cdot \frac{\sqrt{5}}{5} - \frac{3}{5} \cdot \frac{2}{5} = \frac{-2\sqrt{5}}{25}$

$\cos(\beta - \alpha) = \cos \beta \cos \alpha + \sin \beta \sin \alpha = \frac{\sqrt{5}}{5} \cdot \frac{4}{5} + \frac{2}{5} \cdot \frac{3}{5} = \frac{10\sqrt{5}}{25} = \frac{2\sqrt{5}}{5}$

あるから、②から、 $\frac{-2\sqrt{5}}{25} \leq \cos \theta \leq \frac{2\sqrt{5}}{5} \dots ③$

③は①、 $\frac{-2\sqrt{5}}{25}$ は「セ」/「ソ」/「タチ」は $\frac{-2\sqrt{5}}{25}$ 「ツ」/「チ」は $\frac{2\sqrt{5}}{5}$

$\vec{a} \cdot \vec{c} = \sqrt{5} \cdot 1 \cdot \cos \theta = \sqrt{5} \cos \theta \dots ④$ ③だから、③と④から、内積 $\vec{a} \cdot \vec{c}$ のとり得る値の範囲が求まり、 $\frac{2}{5} \leq \vec{a} \cdot \vec{c} \leq 2$ である。

よって、後に求めることになっているが、この段階でも分かり「ヌ」は $\frac{-2}{5}$ 、「ハ」は 2

【方針2】について

$\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{EC} = (\vec{a} - \frac{4}{5}\vec{b}) \cdot (\vec{c} - \frac{1}{5}\vec{b}) = \vec{a} \cdot \vec{c} - \frac{1}{5}\vec{a} \cdot \vec{b} - \frac{4}{5}\vec{b} \cdot \vec{c} + \frac{4}{25}|\vec{b}|^2$

よって、 $\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{EC} = \vec{a} \cdot \vec{c} - \frac{4}{5}$ ⑤

ここで、 $|\overrightarrow{DA}|^2 = |\vec{a} - \frac{4}{5}\vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 - \frac{8}{5}\vec{a} \cdot \vec{b} + \frac{16}{25}|\vec{b}|^2 = 5 - \frac{8}{5}$

あるから、 $|\overrightarrow{DA}| = \frac{3}{\sqrt{5}}$ ⑥

意より、 $\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{EC} = \vec{a} \cdot \vec{c} - \frac{4}{5}$ ⑦

成り立つので、 $|\overrightarrow{EC}|^2 = |\vec{c} - \frac{1}{5}\vec{b}|^2 = |\vec{c}|^2 - \frac{2}{5}\vec{b} \cdot \vec{c} + \frac{1}{25}|\vec{b}|^2 = 1 - \frac{2}{5}$

あるから、 $|\overrightarrow{DA}| = \frac{3}{\sqrt{5}}$ 、 $|\overrightarrow{EC}| = \frac{2}{\sqrt{5}}$ ⑧ ⑥、⑧より、 $\overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{EC}$ について不等式 $-|\overrightarrow{DA}||\overrightarrow{EC}| \leq \overrightarrow{DA} \cdot \overrightarrow{EC} \leq |\overrightarrow{DA}||\overrightarrow{EC}|$ ⑨

⑦、⑧、⑨より、 $-\frac{3}{\sqrt{5}} \cdot \frac{2}{\sqrt{5}} \leq \vec{a} \cdot \vec{c} - \frac{4}{5} \leq \frac{3}{\sqrt{5}} \cdot \frac{2}{\sqrt{5}}$

内積 $\vec{a} \cdot \vec{c}$ のとり得る値の範囲は

